

今僕がでkingen(ん)

国府津中学校 三年 吉江 慶悟

SDGsという言葉を聞いたことがある人は多いのではないのでしょうか。十七のゴールがあり、それに向け世界は様々な対策をしています。しかし、国が対策をしても、一人一人が協力しないと意味がないと思います。そのため、まずみんなに今の世界の状況や対策の仕方を知ってもらうことがSDGsを達成するために大事だと思います。なので、僕は十七のゴールのうち、SDGs13「気候変動に具体的な対策を」について、世界の状況、対策方法を伝えたいと思います。

今年の夏はとても暑く、史上最高の暑さ、と言われていています。その影響で、地球では色々な問題が起きています。例えば、イギリスでは、川を泳いでいた魚が大量死してしまいました。日本では気温上昇で熱中症に関するニュースを聞きます。ちなみに、この暑さでは、蚊も夏バテをしているらしいです。このまま生活をしていくと、降水量や気温の上昇、砂浜が八十五パーセント消失するとも言われています。原因は、温室効果ガス、主に二酸化炭素の増加により、地球に熱がこもりやすくなっていることです。今世界は、この温室効果ガスの排出量減少に向け、水素エンジンの実現や、カーボンニュートラルという二酸化炭素の排出量と吸収量を、プラスマイナスゼロにする活動などを行っています。

では、私たちはどうすればいいのでしょうか。そもそもできることはあるのでしょうか。安心してください、私たちにできる簡単なことがあります。その名も、デコ活です。デコ活の「デ」は「DE」、要するに減らすという意味で、「コ」はCO₂、のことです。これは、脱炭素に繋がる、豊かな暮らしを創ることを目的とし、二〇三〇年度の二酸化炭素削減目標に向けての新しい国民運動です。

僕はこれを見つけた時、とてもいい考えだと思いました。でも、面倒だし、難しそうだな、と思う人もいるかもしれません。ですが、この活動はいいことがたくさんあります。例えば、太陽光発電を自宅で行えば、一年で約五・三万円の節約になり、災害時にも使える、と言うメリットもあります。他にも、地産地消や、残さず食べたり、節水をしたりする、など色々なことが脱炭素に繋がります。このようなことを意識して生活すると、毎月約三万六千円、一年で約四十三万円の節約に繋がります。また、日々の生活の中において、例えばテレワークを行うと、通勤手段として、車や電車を利用しなくなるにより、排気ガスを抑制し、さらに会社時間が省かれるため、時間の節約にもなります。他にも微々たる物ですが、LEDの照明をつけることで省エネ、かつ使える時間も長くなり、付け替える手間も省け、消費電

力と時間の節約になります。このように身近な小さいなことでも脱炭素につながり、さらに時間も節約できるため、一日一時間以上、一年で約三百八十八時間も好きなことができるようになります。

以上のことから、デコ活をするメリットはたくさんあります。僕は、このような活動を知り、意識して行動できるようになりました。でも、僕はそれ以上に大事だと思うことがあります。それは、伝えることです。なぜなら、伝えることで人から人へと、知る人がどんどん増えるからです。なので、僕はデコ活をやれなんて言いません。でも、伝えて、知らせてあげてください。僕はこれが今の自分にできる貢献の仕方だと思います。